



山梨県立 青洲高等学校



所在地 〒409-3601
西八代郡市川三郷町市川大門 1733-2

電話 055-272-1161

FAX 055-272-1164

URL <http://www.seishu.kai.ed.jp/>

E-mail info@seishu.kai.ed.jp

創立 令和2年（2020年）4月1日

課程 全日制

利用交通機関 JR身延線市川本町駅より徒歩10分

教員数 94名

生徒数 800名

<単位制・総合制を活かした教育>

本校は旧市川高校の隣接地に、令和2年4月に開校しました。普通科、工業、商業を併設した総合制高校です。大学等への進学や、公務員・企業等への就職など様々な進路目標を持つ多様な生徒が集まる学校です。単位制による少人数授業と充実した選択科目に加え、快適で明るく開放的な真新しい校舎や体育館、県内屈指の広い校庭（令和5年2月完成予定）など恵まれた環境が用意されています。

これからの社会では複雑で答えのない課題に対して、多様な他者と協働して取り組み、解決していく力が求められます。本校では1年次から「青洲学」において、科を横断したグループ編成で、課題を設定して解決を目指す探究活動を行います。

複数あるPC室や電子黒板・プロジェクタなど充実したICT環境で、授業や生徒の研究・発表に活用します。さらに、Microsoft Teamsや手帳型教材「青洲Diary」を使って学習・生活の記録や振り返りをポートフォリオとして蓄積し、必要に応じて確認しながら学びを深めるとともに、志願理由書の作成など新しい大学入試にも活かしていきます。

また、令和4年度より55分授業を行っています。これにより、これまでより基礎から応用までより深い学習活動が可能となりました。

<学科・クラス編成>

◎普通科（4クラス）

- ◇1年次は、基礎学力向上が重点目標で、全員共通の科目を学習します。学習効率を高めるため、習熟度別の学級編成で行います。
- ◇2年次以降は、進学から就職までの幅広い進路希望に対応したG類型、国公立の4年制大学をめざすLS類型、英語教育を重視しつつ難関大学を目指す英語類型に分かれます。LS類型・英語類型では文系・理系という旧来の考え方を廃し、原則的に国語・数学・英語を同じ単位数で配置して

学科名	1年		2年		3年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	64	76	58	75	56	79	116	157
工業	54	6	52	6	55	2	110	8
商業	18	57	21	50	14	57	35	113

切磋琢磨します。

- ◇単位制の利点を活かし、各年次でパート分けによる習熟度別や少人数での授業を充実させます。
- ◇進学指導を充実させつつ部活動も奨励し、生徒の全人的な発達を目標とします。

【英語類型の特色】

- ◇市川高校英語科のノウハウを継承し、国際的な視野の育成と実践的な英語力の養成を図りつつ、文系理系を問わず難関大学への進学を目指します。
- ◇全員英検2級合格を目指すとともに、GTEC等他の検定試験対応も充実させていきます。
- ◇英語コミュニケーション力の向上を目指し、英語ワークショップや先輩の体験談を聞く会等の行事の他、ALTによる個人指導も充実させています。



（アカデミック・スクエア）

◎工業（機械工学科・土木工学科 各1クラス）

- ◇1年次前期は、工業を学習する上で必要な基礎的な科目を全員共通で履修します。工業技術基礎で

は機械系・土木系それぞれの実習内容を体験します。それを踏まえ、後期には機械工学・土木工学から学科を選択し、より深い内容を学習します。

◇2年次以降、機械工学科では機械設計や製図、土木工学科では測量や構造設計などそれぞれ専門的な内容を学習し、未来のプロフェッショナルを目指します。工業デザインやドローンなどの先端技術を学ぶ機会も設けています。

◎商業（ビジネス探究科・ビジネス情報科 各1クラス）

◇1年次は、商業を学習する上で必要な基礎的な科目を全員共通で履修します。簿記や情報処理の授業では基礎から丁寧に学習し、簿記検定2級・情報処理検定2級の全員取得を目指します。

◇2年次から2つの科に分かれます。ビジネス探究科ではマーケティングや商品開発などを通じ、将来の起業家となり得る人材の育成を目指します。ビジネス情報科ではプログラミングや情報ネットワークの知識を活用して、高度情報化社会で活躍できるビジネス人材の育成を目指します。

◎全学科横断科目

◇3年次には、他学科の生徒に向けて開設された科目の選択が可能です。普通科の生徒が商業や工業の科目を、商業の生徒が普通科や工業の科目を、工業の生徒が普通科や商業の科目を、選択して受講することができます。

<部活動>

本校は「文武一道」を合い言葉に、勉強と部活動の両方に主体的に取り組むことを目標としています。生徒数は県下最大規模であり、充実した部活動が可能です。増穂商業高校・市川高校・峡南高校の伝統を引き継ぎつつも、今年度から青洲高校単独で、県高校総体、県芸術文化祭、双方で好成績を収められるよう切磋琢磨していきます。

野球・バスケットボール(男)・バレーボール(女)・音楽部を本校の重点強化部と位置づけ、活性化を図っています。その他体育局では、陸上競技・テニス・ソフトテニス・サッカー(男)・バスケットボール(女)・バドミントン・弓道・空手道・なぎなた・応援・ハンドボール同好会が設置されています。文化局には吹奏楽・華道・茶道・書道・E S S・美術・写真・家庭・ユネスコに加え、工業・商業の資格取得を目指す部も設置されています。

<地域との交流>

新設の校舎は、自然に交流が生まれるオープンな図書

館を中核とする空間「アカデミック・スクエア」を中央に配した、明るく開放的な施設です。そこには、地域の防災拠点としての機能を担う狙いもあります。学校設定科目「峡南地域学」では、「防災・減災」と「地域の課題発見・解決」を2本柱として、探究的な活動を進めていきます。本校は、「生み出すつながり、創り出すあした」をスローガンに、地域との交流やボランティア活動を重視し、「利他の心」を育てることを教育の柱としています。障がいがある人との交流、手話通訳体験、幼稚園や介護福祉施設の訪問等、自分の知識や能力を他者のために活かす事を通して、喜びや生きがいを見出しながら、多くの人々との出会いを楽しんでいきます。

<進路目標達成への支援>

生徒それぞれの進路目標達成を支援するため、本校教師による課外や学習会等が定期試験前や長期休業中に実施されます。工業・商業関連の資格取得や検定試験に向けた特別講座も用意されます。

本校の大きな特長は、普通科・工業・商業それぞれの専門性の高い教員が多数いることです。例えば、大学の推薦入試は、志望理由書や面接、プレゼンテーションを重視する方向に向かっています。多分野の専門家がいます。本校は、課題研究等の探究活動や、進路目標に合わせた具体的な個別指導に強い学校でもあります。進学・就職指導を含め早い時期から「全員指導体制」で進路実現を応援していきます。

進学指導では市川高校のノウハウを、就職指導では峡南高校・増穂商業高校のノウハウを継承・深化して、生徒の多様なニーズに応えていきます。

参考資料として増穂商業高校・市川高校・峡南高校における過去3年間の主な進学先・就職先を紹介します。

◇進学先

山梨大学 山梨県立大学 都留文科大学 東京学芸大学
金沢大学 信州大学 静岡大学 中央大学 同志社大学
東京理科大学 獨協大学 明治大学 山梨学院大学 など

◇就職先

TDK甲府 テルモ甲府 東海旅客鉄道（JR東海）
東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ
常磐ホテル マルアイ 山梨県庁 山梨中央銀行 など

